学校番号	３００７

令和８年度　工業科（セラミック科）

教科	工業	科目	セラミック工業	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	実教出版・工業 759・セラミック工業						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

セラミック製品は、日用品から先端素材まで幅広い分野で社会の発展に貢献しています。ここではセラミックスの製造に関する知識と技術を習得し、実習や作業現場におけるさまざまな問題の解決に役立て、就職に向けた実践的な能力を身につける際の参考になるよう、学習を深めていきます。

１年次では、伝統的なセラミックスである陶磁器とガラスの製造について、その歴史、特性、製法、用途についてひととおり学びます。学習では聞き慣れない用語も出てきますが、実生活で役立つ内容も多く、意欲的に興味を持って知識を増やしてもらうことを期待します。

2　学習の到達目標

- 課題やノート、プリントの記述を丁寧に行い、技術的な用語や教科書の知識を身につける。
- 陶芸やガラスの実習で学習したことと関連づけて考え、教科書で得た知識を元に、実習作業で適切な判断が出来るようになる。見学する施設に関連した事項については重点的に定着を図り、現場の見聞をより深められるようにする。
- 陶磁器・ガラスのどの工業製品を、単に使うだけでなく、その物理的・化学的な性質を理解した上で、適切に取り扱うことの出来る態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・基本的な事項や説明図、原理等を覚えている。 ・学習内容が、施設見学や実習作業で活かせている。	・理科、社会科、国語など他の科目とも関連づけて幅広く学習内容を理解できている。 ・セラミック製造にどういかされているかを理解している。	・セラミックの製造技術に関する興味と、知識の獲得に意欲を持って学習している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	陶磁器	1.陶磁器の歴史 2.原料と製造方法、工程	a: 専門的な用語も、内容とともに理解し定着している。 b: 実際の製造作業を想像し、実習で学んだことと関連づけることができる。 c: 陶磁器とその製造に対する興味が見られる。 ・製造技術の学習に意欲的である。	ノート記述 定期考査	ノート記述 定期考査	学習状況の観察 実習レポート
	焼成	3.燃料 4.窯の炉操作 5..用途と製品	a: 専門的な用語も、内容とともに理解し定着している。 b: 実際の製造作業を想像し、実習で学んだことと関連づけることができる。 c: 製造機器に対する興味が見られる。 ・製造技術の学習に意欲的である。	ノート記述 定期考査	ノート記述 定期考査	学習状況の観察 実習レポート
2学期	釉薬	6. 釉薬の種類 7. 絵付け、彩色 8. 欠陥	a: 専門的な用語も、内容とともに理解し定着している。 b: 実際の作業を想像し、実習で学んだことと関連づけることができる。 c: 装飾技法や製品に対する興味が見られる。 ・製造技術の学習に意欲的である。	ノート記述 定期考査	ノート記述 定期考査	学習状況の観察 実習レポート

	ガラス	1.ガラス製品の歴史 2.原料と製法、工程	a: 専門的な用語も、内容とともに理解し定着している。 b: 実際の製造作業を想像し、実習で学んだことと関連づけることができる。 c: ガラスとその製造に対する興味が見られる。 ・製造技術の学習に意欲的である。	ノート記述 定期考査	ノート記述 定期考査	学習状況の観察 実習レポート
3学期	環境問題	1. セラミック関連廃棄物 2. リサイクル	a: 専門的な用語も、内容とともに理解し定着している。 b: 実際の製造作業を想像し、実習で学んだことと関連づけることができる。 c: 化学物質や環境問題に対する興味が見られる。 ・リサイクル技術の学習に意欲的である。	ノート記述 定期考査	ノート記述 定期考査	学習状況の観察 実習レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度